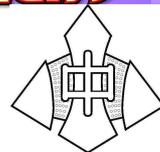


手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年4月20日(火)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

“一つ一つの学級のカ”が学校生活の原動力となる!

4月14日(水)には前期任命式が行われ、学級委員長1名・副委員長1名・書記2名・会計2名の学級役員、全学年で総勢68名の生徒が呼名され、代表の1年遠藤夏輝君、2年遠藤瑛心君、3年七海健太郎君、友垣宇恵野真奈美さんに任命書を渡しました。さすが各学級の代表です。すばらしい返事が聞かれ、凜とした雰囲気の中で任命式を行うことができました。「任命」とは「その役目につくように命ずる」という意味です。任命には、学級役員一人一人に「〇年〇組を頼むよ!」という想いが込められています。



3年七海君の任命

学校の基礎集団は、まさしく“学級”です。一つ一つの学級のカこそ、学校の基盤であり、学校生活の原動力となります。授業への真剣かつ積極的な取り組み、責任感あふれる係の仕事、素早い給食の準備・後片付け、手を抜かない清掃、学校・学年行事での団結力、そして思いやりに溢れ協力性のある温かい雰囲気など、学校における“学級”を核とした様々な活動で、今回任命されたリーダーの働きはとても重要になります。これからのリーダー達の活躍を期待します。

でも一番大切なのは、リーダーが自覚するだけでなく、学級の成員一人一人、つまり、全校生一人一人が“よき学級”をつくるための自覚をもち、行動することです。みんなのカで“よき学級”をつくっていきましょう!

今回任命された各学年の代表生徒の抱負です。



1年生



2年生



3年生



友垣1・2

私は1年生でまだまだ知らないことが多く、1年1組のクラスメイトに支えてもらうことが多くなってしまおうと思うけれど、1組の委員長なので、委員長としての自覚をもち、また、クラスを良いクラスになるように努めていきたいと思います。また、学級委員長は週番委員会や運営委員会に入り、先生や先輩とかかわることが増え教えてもらうことがあると思うけど、やりがいを感じながら、ワクワク、ドキドキという気持ちや「がんばるぞ!!」という気持ちをもって、委員長を務めたいと思います。(1-1 津守 隆成)

2年生になって頑張ろうと思ったことが2つあります。1つ目は勉強です。3年生の受験までまだまだ時間があります。けれど、3年生になったから「もう少しで受験だ」みたいに焦りながら勉強するのは嫌です。だから今から受験の準備として勉強を頑張ろうと思いました。2つ目は部活動です。2年生になり、3年生が部活を引退してからは僕たちが部の中心となって活動しないといけないからです。1年生の頃は先輩と呼べる人達がいて、いつも先輩達にたよっていました。けれど、その先輩達が引退してしまつと、僕達2年生が自分達で考えて行動しないといけないため、1年生のときよりももっと頑張ろうと思いました。委員長としては、クラスのみんなが楽しく笑顔で過ごせるような学級にできるように仕事を全うしたいと思います。(2-1 遠藤 瑛心)

学級委員長として頑張りたいことは2つあります。1つ目は、当たり前のことを当たり前やることです。最高学年の3年生になったので、1・2年生のお手本にふさわしい学年となれるようにみんなを引っ張っていきたいと思います。去年は新型コロナウイルスでできなかったり、縮小されたりした行事があるので、1・2年生は経験していない行事があると思います。なので3年生の僕達がリードしていきたいです。2つ目は、クラスのみんなをまとめることです。3年生にはさまざまな活動があり、クラスのみなをまとめることは大事です。2年生の学級委員長の時は、クラスのみなをあまりまとめられませんでした。学級委員長ということを実感し、はじめをつけたいと思います。3年1組はとても元気で明るい学級なので、他の学級や学年、先生方からも良い雰囲気だと言われる学級にしたいです。そのために何事にも一生懸命に取り組みたいと思います。(3-1 七海 健太郎)

学校生活に元気と活気を…！ 専門委員会活動への期待

2校時目の休み時間になると、BGMが流れ、教室の換気を促す全校放送が流れます。視聴覚委員会の生徒が昨年度から取り組んでいる感染症対策のひとつです。今の専門委員会の活動において、各専門委員会の立場から考えられる感染症対策とは何か、という点について検討し、実行してほしいと思います。

4月14日（水）には今年度最初の専門委員会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策はもちろんですが、次のような視点から専門委員会活動の見直しを図っていくことも大切だと考えます。

「今までと同じことを同じペースでこなしていく、果たしてそれでいいのだろうか。」「今、取り組んでいることを一歩深く踏み込んでレベルを上げることはできないだろうか。」「知恵や工夫を結集させて、新たな取り組みはできないだろうか。」など…

未だ続くコロナ渦の中、生徒会本部や各専門委員会から学校生活に元気や活気を生み出す取り組みが実施されていくことを期待しています。



学習委員会



新聞委員会



図書委員会



視聴覚委員会

事故はそれにかかわる全ての人を不幸のどん底に陥れる

4月16日（金）には、郡山警察署交通一課の署員の方を講師としてお迎えし「交通安全教室」を開催しました。前半は、よく起こりがちな自転車事故の事例をまとめたDVDを視聴し、後半は署員の方から講話をいただきました。交通事故被害者や自転車による事故の損害賠償などについてのお話がありました。

「行って来ます」と言って出かけた大切な人が「ただいま」と言って帰ってくる。これは決して当たり前のことではないのです。とてもとても幸せなことなんです。どうかこのことを忘れないでください。

これは、ある交通事故被害者の手記にあった言葉です。自分の大切な息子さんを不慮の交通事故で亡くされた女性の手記です。

このような手記を読んだときは、悲しい気持ちになって、事故はそれにかかわる全ての人を不幸のどん底に陥れる、ということが理解できます。でも、人はすぐに忘れてしまいます。交通ルールについては様々な場面で指導をしています。でも、生徒の中でもルール違反はなくなりません。今年度になり、自転車運転時の事故が続いています。交通事故防止については、「自分には関係ない」ではすまされないということ、もっともっと真剣に向き合わなければならないということ、今回の交通安全教室をきっかけとして、みんなで考え、正しい行動がとれるようにしていこう。



保護者の皆様へ

学校がスタートし2週間が経過 感染症対策の徹底と事故防止をお願いします！

令和3年度がスタートし2週間が経過しました。時間割による通常の授業もスタートし、生徒達の授業に真剣に向き合う姿が見られるようになりました。1年生も徐々に中学校生活に慣れてきたように感じます。これからは、この“慣れ”からくる事故や問題の発生に十分注意し、その未然防止に努めていく必要があると考えます。次の3点について、ご家庭での指導や対応をお願いいたします。

- 新型コロナウイルスの感染について、変異株の増加や若年層の感染増加など憂慮すべき状態が続いています。家庭や校外生活における感染症対策の徹底継続をお願いいたします。
- 交通事故防止について、特に自転車運転時の事故に十分注意させてください。交差点では必ず一旦停止する、スピードの出し過ぎに注意するなど、交通ルールを遵守するようご指導願います。
- 緊急連絡体制を万全にするために、マチコミメールへの登録をお願いいたします。

